



New Year Seminar 「2025年新春セミナー」 パラスポーツから考える共生社会

(株)ユニバーサルスタイル代表取締役
日本パラリンピック委員会運営委員

初瀬 勇輔 氏

- 【特集】 ① 2025年賀詞交歓会開催
② オーストラリア海外研修参加者レポート



お客さまと接することが楽しく、やりがい

(株)クック・チャムは、2010年に知的障がい者を対象とした就労継続支援A型事業所(株)クック・チャム my mamaを本社隣接地に開所。惣菜加工、製造業(パン粉付け作業、コロケ成型作業、野菜下処理作業など)、農業(ハウス栽培)、「ばあばのお昼ごはん」「新居浜市役所地下食堂 浜食」に関する業務(施設外就労)を通して「全ての人が一生活躍できる場を作りたい」との思いを実行している。

フロアリーダーを目指す

食堂「ばあばのお昼ごはん」は、21年に「生涯現役の村」創造事業「みんなの村 はま・くる」(愛媛県新居浜市)内に「職」と「食」をテーマ創造事業としてオープンした。「生涯現役の村」は、地域の高齢者や障がい者、そして若者など誰もが役割を持って働いて生きていける村として整備を進めている。

山内康平さんは、9時半から17時頃まで「ばあばのお昼ごはん」で接客・そうじ・料理の下ごしらえを担当して働いている。知的障がいがあり、(株)クック・チャム my mamaに就職して13年目。自宅から職場の最寄り駅までは自転車で通い、最寄り駅からは職場の送迎車で通っている。「職場では、いろいろなお客さまと接することが楽しい」と、やりがいを感じている。特に、学生時代の恩師や友達が食べに来てくれることが嬉しいと笑顔がこぼれる。

大変なことは、お昼時にお客さまが一度にたくさん来店されて、接客に戸惑ってしまうことである。壬生川新居浜野田線沿いにある「ばあばのお昼ごはん」のテラスからは瀬戸内海を一望しながら食事ができ、たくさんの観光客も立ち寄る。山内さんはテキパキと接客をこなせるようになり、フロアリーダーを目指している。そして、夢はいろいろなところへ旅行に行くことで、海外にも行きたいと考えている。

家族には毎日休まず仕事に行くことを褒められている。

特に、体力がついたねと言われる。正月にはお給料で家族におせちを買って喜ばれ、とても嬉しかったと顔をほころばせる。

障がい者雇用は利益にも貢献

(株)クック・チャム my mamaの日野浩司社長は「障がい者雇用自体が大変になってきている」という。障がい者を雇用する企業が増えてきているからということもあるが、彼らが働いて生きていくことを継続・実現するためには、加齢に伴うさまざまな変化や親御さん亡き後の生活への対応など、これから考えなくてはいけないことがたくさんあると指摘する。

障がい者雇用は会社の利益にも貢献しており、「もう彼らなしでは事業は成立しません」と日野社長は語る。そのためにも、クック・チャム本体への一般就労を継続することと、彼らが働いて生きていくことを実現することが最大の課題である。「ばあばのお昼ごはん」は障がい者雇用の業態モデルとして、可能性を拓いていくクック・チャムの今後に注力していく。

惣菜管理士&デリカアドバイザーの皆さまへ



「笑顔いきいき」に登録していただける方を募集しています！
自薦・他薦問いません。資格取得して良かったことや現在の業務に生かしていること、おすすめ商品の紹介もOKです。
☞ QRコードからご連絡ください。



「10本のニンジン」 水野 貴男 Mizuno Takao (所属：嬉々!! CREATIVE)

1982年生まれ。強い筆圧、カラフルな色使いと丁寧な仕事、奇抜に引かれる線で完璧に独自の世界を築いている。強い視線の動物や人物画が好評。カフェでは超真面目な人柄がバリスタとしての仕事とばっちりかみ合い、マスターに就任。曲がったことが大嫌いな人柄家。

jm News Contents February/March 2025 No.336

- 03 笑顔いきいき (株)クック・チャム my mama 山内 康平 さん
- 04 2025年 新春セミナー バラスポーツから考える共生社会 初瀬 勇輔 氏
- 08 賀詞交歓会あいさつ
- 12 協会活動報告
- 14 特集 オーストラリア海外研修 参加者レポート
- 16 新入会員紹介
- 18 惣菜・べんとうグランプリ2025 受賞商品紹介
- 19 惣菜新時代 Vol.10 「値上げ」を付加価値に変える商品開発、ブランディング(ア)
- 20 《安全・安心な食の知識 ⑥》 ウエルシュ菌・セレウス菌(ア)
- 21 企業訪問 パッチワークキルト(株)
- 22 日本の郷土料理 発見! 郷味【宮崎】(ア)
- 23 わが社のイチ押し (株)白興/大和製衡(株)
- 24 新店舗情報 (株)平和堂/福井県民生活協同組合
- 25 Skill Check & Study Go! チャレンジクイズ
「惣菜のお悩みあるあるQ&A」Vol.9
- 26 ニュースダイジェスト/アンケートクイズ
- 27 正会員名簿(2025年3月現在)

パラスポーツから考える共生社会 ～ 2026年の障害者雇用率2.7%に備えるために～



(株)ユニバーサルスタイル代表取締役
日本パラリンピック委員会運営委員
初瀬 勇輔氏 Hatsuse Yusuke

1980年生まれ。19歳で緑内障を発症して視覚障害となる。2008年、北京パラリンピック視覚障害者柔道に出場。11年、(株)ユニバーサルスタイルを設立。障害者雇用のアドバイスや障害者に特化した人材紹介を行っている。24年のパリパラリンピックではNHK解説者を務めた。日本パラリンピック委員会 運営委員・日本視覚障害者柔道連盟 会長・日本パラリンピアンズ協会 副会長。

2026年から民間企業の障害者雇用率は2.7%へと引き上げられる。現在、日本の障害者は1164万人（人口の9%）。共生社会になり申請数は増え、障害者の人数は増加しているが、就業できる人はすでに雇用されているような状況である。これから障害者の雇用を増やすためには、障害の特性を理解し、障害に寄り添った働き方を考え、それが当たり前の社会にしていかなければいけない。（25年賀詞交歓会 新春セミナーより）

突然、 視覚障害者となったショック

私は、(株)ユニバーサルスタイルという会社を設立し、障害者の就職支援をしています。まずは、私が視覚障害者になり、どういった経緯で今に至ったかをお話します。

法曹界に憧れて長崎から中央大学の法学部に入學し、学生生活を謳歌していた大学2年の時に両目の視覚障害となりました。19歳で既に緑内障と診断され、右目の視力を失っていました。今はこうして皆さまの前で話すことができます。さまざまな工夫や経験で、生活に困ることは少なくなってきました。

視力を失った直後は、何もできなくなっていました。歯磨きができない、ご飯は箸が使えない、人の顔がわからない、字も読めない。「聴覚は大丈夫だから音楽は楽しめるだろう」と友人がラジカセとCDを持ってきてくれましたが、聴きたいCDが選べません。ラジカセのスタートボタンも押せず、音楽を聴くことができませんでした。当たり前に生活してきたことのほとんどができなくなり、田舎から上京してきた母と病院内で

すれ違っても気づけませんでした。

言葉では言い表せないのですが、ショックで何をしていたのか、大学は卒業できるのか、そもそも卒業した自分に居場所はあるのかと思ひ悩みました。しかし、友人と家族には恵まれました。私は病院で「死にたい、死にたい」と泣いていました。ある時、母に「死にたいなら死んでいいよ。死ぬなら私も一緒に死ぬから」と言われました。私はこの一言で目が覚め、私を産み育ててくれた母も同様に苦しい思いをしていたということにやっと気が付きました。

退院すると、今度は歩くことができません。車の音が聞こえると、自分の方に全部向かってくるような気がしました。道路の凹凸やちょっとした傾斜や段差も怖い。このような中で、友人や大学のサポートを受けながら卒業を目指していきしました。ある友達に、「初瀬といくと楽しいから」と大学の最寄り駅で待っていてくれました。朝から夜の授業が終わるまで一緒にいて、送り迎えしてくれるという生活を卒業までの2年間付き添っ

てくれました。今でも考えられないほど、いろいろな方々に支えてもらいました。

パラリンピックと視覚障害者柔道に出会う

視覚障害の自分は卒業後、何ができるのかと悩んでいた4年生の時に、04年のアテネパラリンピックの様子を伝えてくれる方から視覚障害者柔道があることを知りました。自分に何ができるのかと思っていた時でしたので、高校まで取り組んでいた柔道ならできるかもしれないと思い込み、わらにもする思いで始めることにしました。その頃には、何とか一人で外を歩けるようになり、買い物もできるようになっていました。

そして7年ぶりに道場に立ったとき、思うように動けないのですが、体が覚えていた技をいくつか出すことができ、投げたり投げられたりすることをものすごく楽しめました。例えば目が悪くなると2年間、勝ったり負けたり誰かと競争する機会や切磋琢磨する機会がありませんでした。嬉しいとか悔しいという経験もなかったのです。

道場の畳の上では、人間はフラットだと気が付きました。畳は物理的にフラットですが、心の面でもフラットだと感じました。障害があってもできることがあると気づかせてくれたのは柔道でした。これがきっかけとなり、就職活動や起業という能動的な行動につながっていきます。スポーツを通して仲間ができ、目標ができて人生の道筋が見え、自分を高めていこ

うという意識が生まれたことは非常に大きなことでした。視覚障害者になってから健常者と同等に話をするときは、常にどこかで自分を卑下していたような気がします。スポーツを始めてからは、強くなりたいという気持ちに加えて、健常者とか障害者とかに関係なく柔道ができるということが喜びに変わったと思います。

視覚障害者柔道はお互いに視覚に障害があるため、組んだ状態で試合をスタートします。「お互いの手が離れたら負け」というルール以外は、健常者のルールと同じです。ずっと組んでいて逃げるのが許されないのが、力が重要になります。1秒で決着がついたり、残り10秒で逆転ということも起こりうるので、最後まで気を許せません。

柔道には、嘉納治五郎先生の「精力善用 自他共栄」という言葉があります。柔道で培った精神力を良いことに用いること、そして自分と他人が共に栄えることは共生社会やインクルーシブな社会にもつながるのではないのでしょうか。「精力善用 自他共栄」は、まさに視覚障害者柔道を表す言葉であり、今の社会を表す言葉ではないかと思っています。

失ったものを数えるな残されたものを最大限に生かせ

08年には北京パラリンピックに出場することができ、とても誇らしい気持ちになりました。オリンピックが開催された場所での丸を背負って試合をするんだという高揚感のもと、開会式では10万人

の拍手の中をたくさんの方の光を浴びながら歩くという夢にも見たことのない経験をしました。この大会の開会式で、障害者としてどう生きるかということを実際に考えました。

パラリンピックには「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」という有名な言葉があります。パラリンピックを体現する言葉として、広く使われています。私に当てはめると、視力・視野は失ったけれども他は問題ない。人前で話すこともできるし、柔道もできる。そういう自分に、「今できることに全力を傾けていけ」という言葉だと思います。人間はどうしてもできないことや無いものに目を向けるがちなことから、この言葉は障害者・健常者に関係なく全ての人に当てはまる言葉だと思います。

日本に戻ってから、障害者である自分が輝ける仕事を探し、独立して起業しました。自分自身の新卒時の就職活動では100社以上にエントリーしたものの、視覚障害ということで面接ができたのは2社のみでした。そういう経験があったので、障害者が企業に入社して活躍するためには何ができるか、私も日々チャレンジしています。

パラリンピックはオリンピックと同様の強化を受けられる

私が多大な影響を受けたパラリンピックについて、少し振り返りたいと思います。歴史をひもとくと1948年、第2

次世界大戦で脊髄損傷を負った兵士のリハビリとしてイギリスの病院で行われたアーチエリー競技会がパラリンピックの原点です。今では、参画地域160強、競技数は夏季22競技、冬季6競技と広がっています。

パリパラリンピックで日本選手団は41個のメダルを獲得し、うち金メダルは14個で東京パラリンピックより多くなりました。強くなった要因として、14年にパラリンピックが厚生労働省から文部科学省管轄に移り、オリンピックと同様の強化を受けられるようになったことが挙げられます。さらに19年、ナショナルトレーニングセンターに屋内トレーニングセンターのイースト棟がオープンし、障害者もトレーニングを受けることができようになりました。そこでトレーニングした成果が実ったことも勝因にあるのではないかと思います。選手たちの活躍もあり、パラリンピックの認知度は高まって試合への観客動員数も増えてきています。

日本の障害者は1164万人(人口の9%)

日本の障害者人口は1164万6千人(人口の9%)です。内訳は身体障害者423万人、知的障害者126万8千人、精神障害者614万8千人です。参考/厚生労働省「令和4年生活のしづらさなどに関する調査」。要因は、超高齢社会における加齢による障害の増加、発達障害の方が手帳を取得しやすくなった



り、障害があることを公表しやすくなったことなどが挙げられています。

共生社会の醸成により、障害を表に出せるようになり、家族や個人で抱えていた障害を社会で共有できるようになりました。世界はというと、人口の15%の人が障害を抱えていると言われています。意外と障害者は多いのです。障害のある方がいることが前提の社会は自然だと思えます。スポーツだけに限らず、障害のある方が当たり前にも何でも普通にできる共生社会にはまだまだ道半ばですが、これから目指していかなければいけないと思います。

では、何が普通の生活なのでしょうか。例えば私は目に障害があるので、腕時計は蓋を外して指で文字を読む仕組みのものを使用します。一般的なスマホやスマホでも振動や音声で時刻を知らせてくれる機能があります。当然、人に聞くこともできます。ということは、私にとって時間を知りたいということは障害にはなりません。車椅子の方は近くにスロープやエレベーターがあったり、介助する方がいれば移動は障害となりません。

少し前までは、障害の個人モデル・医療モデルという考え方をしていました。目が悪い方は手術や薬で目を治して障害を無くし、車椅子の方は手術をして歩けるようにするという考え方のことです。今は社会モデルに切り替えるべきだと言われています。例えば、私はパソコンでデータをもらえば大抵のことはできるので、そういう情報の渡し方でインフラを整えます。車椅子の方には、エレベーターやスロープを作りましょう。このように、社会インフラを変換することで障害を無くすという考え方が主流になりつつあります。テクノロジーが発達して、いろんなシステムが変わったりハード面が変わることで障害が薄くなっていくと思います。

26年から障害者雇用2・7%

障害者の雇用については、障害者雇用促進法で規定されています。現在、民間企業は障害のある方を2・5%雇用しなくてはなりません。これが26年には2・7%に引き上げられることが決まっています。人材不足に悩まされている企業が多い中、私は障害のある方を戦力化することで、実はその人材不足を補えるのではないかと思っています。

障害者が働きやすい職場には、「物理・情報・制度・心」の4つの合理的配慮があります。①エレベーターやスロープの設置などハード面の「物理的配慮」②音声ソフトや手話通訳など、どうやって情報を与えるかという「情報の配慮」

③「制度の配慮」では、フレックス制度などを導入することで、通勤時間に困難を抱えている人が通勤しやすくなると働く機会が増えるかもしれません。障害者枠にアスリートを入れると、職場環境が前向きになりとても良くなります。そして、④「心の配慮」ですが、障害のある方の仕事の事例でいうと、電話営業を視覚障害の方にお願しているというケースもあります。しっかりと研修すること

で、仕事ができるようになります。作業工程を色分けした図面に表し、障害のある方のみならず外国人の方にも配られているという企業もありました。そうすることで現場は働きやすくなります。

障害者の仕事の作り方は、細分化して集約する方法があります。皆さんの業務分析をして、一つ一つ細かく仕事を区切って分けていきます。その上で一人分の仕事を作っていく。このようにすることで、障害のある方の仕事ができます。あるホテルでは、銀食器磨きは知的障害者に任せていますとのこと。非常にきれいに、熱心に磨いているそうです。その一方で、料理ができる方は調理を、テーブルの設定ができる方はテーブルセッティングの仕事にと、分業の考え方で仕事を回しているとのことでした。

また、現状アウトソーシングしている業務を社内の障害のある方によって内製化することで、キャッシュアウトを防止でき、情報保護にも効果があります。視覚障害者によるマッソージも企業の福利厚生としてお勧めしています。

障害者雇用の未来において一番の課題は、企業が希望する障害者の方はすでに就業しているということです。これから採用の主役は、重度の身体障害の方、採用しづらい視覚障害の方、精神障害の方です。こうした状況の中で、どのように採用していくのが課題です。採用したらどうするのか、成長のための教育やキャリアアップはどうするのかなど、採用しても課題はあります。

しかし、私は未来は明るいと思っています。障害者が会社にいると、組織の人間関係が丸くなって会社が良くなったというお話をたくさん聞きます。

今日は、パラスポーツや障害について話しながら、共生社会をどうやって実現するかというお話しをしました。その一つがパラリンピックであり、障害者雇用ではないかと思えます。

皆さんと一緒に共生社会を実現していきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

「障害」の表記について 本文では、(株)ユニバーサルスタイルが提唱する「社会モデル」の考え方に基つき、「障がい」ではなく「障害」という表記で統一しています。(視覚障害者が読み上げソフトを使用する際に、「障がい」を「さわりがい」と読んでしまうことがあるためです)

2025年5月開講 通信教育 デリカアドバイザー養成研修 受講申込み受付中

受講申込4月1日から5月31日まで

全国で**3,434名** (24年9月現在) のデリカアドバイザーが活躍しています！

【受講の流れ】

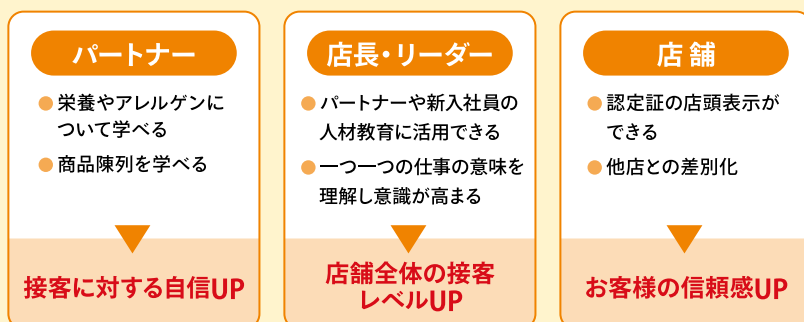


スーパーマーケットや百貨店、惣菜専門店等の惣菜売場・店舗で働く方々に向けた教育プログラムです。知識を身につけることにより、自信を持ってお客様と接することができるようになり、商品の魅力や安全性を正しく提供することで、店舗の接客力向上につながります。

カリキュラム内容

- 惣菜を取り扱う方へ
- 役割と基礎知識
- 食品の安全と信頼のために
- 表示と品質管理

【デリカアドバイザー取得のメリット】



【受講料】(10%税込)

正会員	16,500円
賛助会員・協力会員	17,600円
協力団体	17,600円
一般	22,000円

※協力団体についてはホームページをご覧ください。

店頭表示実施企業

中部フーズ(株)
(株)関西スーパーマーケット
(株)イズミ
(株)さとう
(株)ラルズ
(株)デリカサイト
(株)フジ
(株)マルヨシセンター
(株)マルイ
(株)Aコープ東日本

店頭表示で
お客様との
コミュニケーションに！



上記企業など65社で実施中 順不同

【お問い合わせ】

一般社団法人 日本惣菜協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 平河町 フロントビル2F TEL:03-6272-8515 FAX:03-6272-8518

E-mail: delica@nsouzai-kyoukai.or.jp HP <https://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/>



申込はマイページ (WEB) から

